

令和元年度第1回松戸市公共施設再編整備推進審議会 議事要旨

日時：令和元年11月12日（火）9：30～11：00

場所：松戸市役所 新館5階 市民サロン

出席者：柳澤委員（会長）、藤村委員（副会長）、池澤委員、小川委員、渋谷委員
（欠席：村山委員）

○議事

- (1) 前回議事の確認
- (2) 今年度のスケジュールについて
- (3) 公共施設再編整備基本計画の進捗管理等について
- (4) その他（小金原地域における市民参加活動、次回開催予定）

(1) 前回議事の確認

事務局より、平成30年度第4回松戸市公共施設再編整備推進審議会の議事内容について説明を行った。

<主な意見>

- 平成30年度新松戸地域シンポジウムでは、他市の事例紹介を交えて、公共施設再編に関するショートレクチャーやディスカッションを行ったが、参加者としては、新松戸地域における公共施設に対する具体的な取組に係る内容を求めている様子であった。今後は、小金原地域で継続的にワークショップ等の市民参加活動を実施していくと同時に、新松戸地域においても地域で具体的な公共施設を対象とした取組を行うことができればよいと考える。

(2) 今年度のスケジュールについて

事務局より、東松戸まちづくり用地活用事業および個別施設計画に係るスケジュールについて説明を行った。

<主な意見>

- 東松戸まちづくり用地活用事業での取組を踏まえ、今後、モデル地域等における個別の事業の実施に際しては、民間活力の導入や設計段階でのデザイン調整会議など、民間ノウハウや地域住民等の意見・要望を反映させることができるような事業手法を検討していくことが望ましい。

(3) 公共施設再編整備基本計画の進捗管理等について

事務局より、公共施設再編整備基本計画の進捗管理等に係る主要検討項目の概要（案）

及び松戸市個別施設計画（全体構成案）について説明を行った。

<主な意見>

- 施設評価を行う際、施設種別によって着目すべき視点が異なると考えられる。対象施設全体の評価に係る基本的な考え方は統一した上で、施設種別ごとに評価指標を検討する必要があると考える。
 - 公共施設の再編整備の方向性を検討する際、所管課によって着目する視点や考え方が異なると考えられる。したがって、公共施設再編課の役割として、各所管課が作成した個別施設計画や進捗管理シート等の確認を行うだけでなく、対象施設に係る方向性の大枠を示す等、包括的にコントロールしていく必要があると考える。
 - 上位関連計画との整合や進捗管理に係る内容だけでなく、各所管課が概算するコストの見直しについても公共施設再編課が確認を行うべきであるとする。対象施設に係るコストを確認することで、財政負担を考慮した全体最適化の視点で、各施設の再編整備の方向性（複合化等）や事業手法の検討につなげることができる。
 - 各施設における再編整備の具体化に当たっては、モデル地域における取組を活用できるのではないかと考える。モデル地域においてパイロットプロジェクトとして先行的に具体的な公共施設を対象とした再編整備を実施することで各所管課とのイメージの共有を図りやすくなると考える。
 - モデル地域の一つである小金原地域の小中学校においても、児童生徒数の減少により、部活動の維持が難しくなる等、良好な教育環境を維持するうえでの問題が発生している。
 - 愛知県では、中学校の部活動を廃止し、官民連携により、民間のスポーツクラブに委託する取組を行っている事例がある。各中学校の体育館を地域の運動拠点として利用することができるため、学校施設の有効利用という視点でも先進的な取組であるとする。
 - 学校施設の再編整備に係る検討に当たっては、教職員（県職員）と施設所管課（市職員）の連携によって進めていくことが重要である。
 - 改定を予定している松戸市都市マスタープランとも整合を図る必要があるとする。
- 施設評価に当たっては、各施設類型の特性を踏まえた評価指標を検討するように努めたい。
- 個別施設計画の進捗管理等については、各所管課と連携しながら検討を進めている。また、個別施設計画の策定に当たっては、松戸市都市マスタープラン（改訂版）との整合にも配慮していきたい。

(4) その他

①小金原地域における市民参加活動について

事務局より小金原地域における市民参加活動（シンポジウム・ワークショップ）についての説明を行った。

<主な意見>

- 小金原地域では、公的空間の利活用に向けて、小金原団地や中央商店街の再生等が重要な要素となると考えられることから、令和元年度の小金原地域シンポジウムは、団地と商店街の抱える問題への取組から小金原地域の未来を検討することをテーマとして、小金原地区まちづくり部と市が連携して開催する予定である。また、小金原地域の小学校3校の保護者を対象として、小金原地区まちづくり部主導のアンケート調査を実施する予定である。令和元年度の小金原地域ワークショップの内容については、上記アンケート調査の回答結果をもとに検討したいと考えている。
- 継続的に取組を実施している小金原地域の例を参考に、他のモデル地域（新松戸地域・東松戸地域）についても水平展開していくことが望ましい。
- 小金原地域は、小金原地区会まちづくり部が中心となって地域をまとめていることもあり、市民参加に係る取組を実施しやすい環境が形成されている。小金原地域では、本事業に係る取組だけでなく、小金原中央公園の再整備を対象としたワークショップ等、複数の取組が行われていることから、地域全体の活性化に向けた検討がなされればよりよいと考える。
- 次回以降のワークショップ等の開催内容については、公共建築物に着目するだけでなく、公共施設に関連する市有地全体の有効活用等、視野を広げて検討していくことが望ましい。

②次回開催予定

- 令和元年度第2回松戸市公共施設再編整備推進審議会は、1月20日（月）午前9時を候補日として調整する。

(以上)